

農業者年金に 加入しませんか

農業者年金は、国民年金の上乗せ年金として終身受給できる農業者のための年金制度です。安心な老後生活に備えるため、農業者年金への加入を考えてみませんか？

■**農業者であればどなたでも加入できます**
年間60日以上農業に従事する60歳未満の人で、国民年金第1号被保険者（国民年金の保険料納付免除者を除く）であれば、どなたでも加入できます。

■**積立方式の安心な制度です**
加入者が積み立てた保険料とその運用実績で将来の年金額が決まる「積立方式」です。加入者や受給者の数の影響を受けないため、少子高齢化時代でも安心できる制度です。

■**保険料の額は自由に決められます**
保険料は、月額2万円から6万7千円までの千円単位で自由に選択でき、いつでも見直しができます。

■**80歳までの保障がある終身年金です**
年金は65歳からの受け取りです。60歳からの繰上受給もでき、仮に80歳前に亡くなくても、80歳までに受け取るはずの老齢年金が死亡一時金として遺族に支給されます。

■**税制面での優遇措置があります**
保険料の全額が社会保険料控除の対象になるため、税金が安くなる場合があります。また、受け取った年金も公的年金等控除の対象となります。

■**担い手には保険料の国庫補助があります**
39歳以下の認定農業者やその家族など、一定条件を満たす人には保険料2万円のうち、4千円から1万円の範囲で国の補助が受けられます。

加入者の声

「酪農を頑張った証に」

経営に携わり、はや2年。手探りでゆとりがなかった仕事も少しずつ知識や技術が身に付きやりがいを感じています。

農業者年金の加入によって、自分が農業者であることを自覚することができました。将来受け取る年金は、酪農を頑張った証となり、仕事へのモチベーションにもつながっています。

今後も夫婦で役割を補い合いながら、仲間と共に農業の魅力を伝えていければと考えています。



村澤 真澄さん
(38歳・山岸)

インターンシップ

絆を深めた学生職業体験 町への興味・関心が高まる

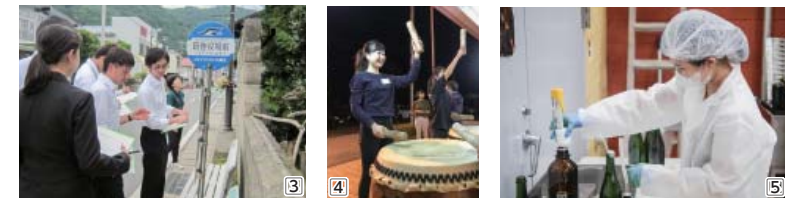
8月と9月に実施された「葛巻型インターンシップ」。葛巻町に興味、関心を持つ16名の学生を受け入れ、広報くずまきでも2度にわたり学生たちの体験を紹介してきました。

インターンシップを終えた学生たち全員が「参加して良かった」と感想を寄せており、「将来、葛巻町と関わり貢献したい」と意欲的な学生も多数いました。

また、職業体験を通じて町や人の魅力に触れた学生の中には、「森林の収穫祭」（10月14日、15日開催）に家族や友達を誘って再び町に遊びに来てくれた人もいます。人材確保や移住を目的としたインターンシップに関わった、たくさんの人たちがつないだ学生との絆が着実に実を結んでいます。

①②インターンシップで町に魅力を感じ、イベントに参加してくれた学生

③④⑤8月と9月に
行われた学生たちの
体験の様子



i-サポ盛岡

すてきな出会いは 「i-サポ」で

県と県内の市町村などが連携し、オール岩手体制で運営する「いきいき岩手」結婚サポートセンター「i-サポ」は、会員登録制により1対1の出会いの機会を提供することで、あなたの理想のパートナーを探します。センタースタッフが全力でサポートする「i-サポ」に登録し、結婚への一歩を踏み出しませんか。

【入会方法】

1. 「i-サポ」への訪問日時を事前に電話で予約します。
 2. 次の書類を持参し、会員登録を行います。
 - ①入会申込書（ホームページからダウンロード）
 - ②本人の住所を確認できるもの（運転免許証、パスポートなど）
 - ③戸籍抄本（発行後3カ月以内のもの）
 - ④写真（センターでも撮影可）
- ※個人情報の管理を徹底するため、訪問予約や入会手続き、お相手検索などはすべて本人のみが行います。

☎「i-サポ盛岡」

〒020-0024

盛岡市菜園1-3-6 農林会館6階

☎019-601-9955



小田地区に移住した新妻浩三さんのお家で談笑する移住体験ツアーの参加者の皆さん



ソバ刈りを体験をする参加者たち

いらっしやい くずまき通信

移住定住・交流ガイド

くずまき暮らしの魅力伝える 移住体験ツアーを開催

町の魅力を伝える 暮らし体験ツアー

9月22日から24日の3日間にわたり「くずまき暮らし体験ツアー」が行われ、東京都、千葉県、静岡県から5人の移住希望者が当町を訪れました。このツアーは、現在、都市部で暮らし、葛巻町に興味を持つ方々を対象に行われ、町を訪れ

移住に向けた具体的なイメージを描いてもらうと、くずまき観光地域づくり協議会の移住・交流検討部会（前野嗣郎部会長）が企画しました。ツアーでは、くずまき高原牧場での牛の乳しぼり体験やくずまき秋まつりの山車引きへの参加などにより、地域住民との交流を楽しみながら「住みたくなる町」の魅力を感じてもらうことができました。

移住者から学ぶ 田舎暮らしの魅力

移住定住者向けの住まいの一つとなる小田地区の定住促進住宅を見学した後、同地区に移住した、新妻浩三さんの自宅を訪ねて交流会を行いました。交流会では、小田部落会の荒谷健一会長から同地区を紹介していただいたほか、新妻さんからは、移住するまでの経緯や町への思い、田舎暮らしの魅力などについてのお話を伺いました。参加者からは、新妻さん宅のいろりを囲みながら、熱心に話に

魅力いっぱい 冬の体験ツアーも

町では今後、冬季の移住体験ツアーも計画しており、移住・交流検討部会と連携しながら移住者を呼び込むための企画を検討しています。冬の寒さや降り積もる雪を体感してもらい、その時でしか味わえないこの町ならではの「田舎暮らしの魅力」を住民の皆さんに協力いただきながら発信していきますので、ご協力をお願いします。

耳を傾け「実際に移住した方の話を聞くことで、移住後の生活イメージができた。より具体的に移住を考えていけそうです」と感想を話していました。今回の移住体験ツアーに参加した皆さんから寄せられたアンケートの中には「できれば移住したい」と回答した方も。実際に町を訪れて、さまざまな体験をしていただくことにより、町の良さを伝えられた結果となりました。

【相談・問い合わせ先】 総務企画課 いらっしやい葛巻推進室 ☎66-2111 内線221・224・225